

名古屋市立大学の「今」を伝える広報誌



ソテツ広場で憩う学生たち(→P5)

特集

平成30年度 新体制発足!

特集① ■学長インタビュー「全国トップの大学を目指して」

■新体制紹介

特集② ■第三期中期目標・中期計画

01 特集①

03 TOPICS

07 特集②

09 学生の活躍／名市大発見

10 受賞関連／お知らせ

11 イベントカレンダー／寄附顕彰

DONATION

あなたの力が支えます。

ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ：事務局総務課

tel.052-853-8005

平成30年度 新体制発足!

INTERVIEW

2018年4月から、名古屋市立大学理事長・学長として二期目を迎えた、郡健二郎先生にお話を伺いました。

学長インタビュー

全国トップの大学を目指して



名古屋市立大学 理事長・学長
郡 健二郎

Q1 一期目となる2014年度からの4年間を振り返っての感想をお聞かせください。

皆さまの温かいご協力を得て、大役を微力ながらも務めることができました。深く感謝しております。名市大は日々進化し、社会からの評価が急速に高まっています。教育・研究・財務・国際化を評価する「THE世界大学ランキング」(2017年9月発表)では、国内では同率13位(780大学中)、世界では同率601位(18,000大学中)にランクされ、「大学の地域貢献度に関する全国調査2017(日経グ

ローカル)」では東海地域で1位でした。嬉しいことに、「進学ブランド調査2017(リクルート進学総研)」では、東海エリアの高校生に聞いた全国の「知っている大学」で、2016年の29位から2017年には19位に急上昇。これらは偏に皆さまのご尽力の賜物で、これからも謙虚に、さらに高いレベルの大学を目指したいと思います。

Q2 2018年度からの第三期中期目標・中期計画期間(P7・8で特集)は、どのようなビジョンのもと、どのような6年間にしたいですか。

第三期は、名市大の将来において重要です。法人化後、12年の歳月が過ぎ、今回第三期の13年目から18年目までの6年間は、ヒトに例えれば中高校生に当たります。この時期の頑張りで、人生が大きく変わるように、第三期は名市大のターニングポイントです。幸い、第三期の運営費交付金等は、法人化当時にまで増額される予定です。私たちが願っていたまさに「V字回復」となります。

一方、18歳人口の減少、経済低成長などの荒波がわが国の大学に押し寄せています。

しかし、物は考えようです。戦後70年間、産業やスポーツ界などの領域でランキングは変わりましたが、変わっていないのは大学だけ。この荒波を乗り越えることが、名市大が全国トップになるチャンスです。そのためには、将来を見据えたビジョンを掲げ、それを名市大すべての構成員が協力して実現することだと思います。なお、具体的なビジョンは、本学ウェブサイトに載せていますのでご覧ください。

新体制紹介



副理事長・事務局長(法務・コンプライアンス)

丹羽 吉彦

学長補佐(広報)

平嶋 尚英(薬学研究科教授)

学長補佐(北千種キャンパス将来計画)

横山 清子(芸術工学研究科教授)

学長補佐(情報・図書、AI・IoT)

三澤 哲也(経済学研究科教授・総合情報センター長)

副理事(AI・IoT)

松本 貴裕(芸術工学研究科教授)

副理事(施設計画・駐車場)

間瀬 光人(医学研究科教授)



理事・副学長(研究・国際)

今泉 祐治

学長補佐(産学連携、分子医学研究所)

道川 誠(医学研究科長・教授)

学長補佐(先端研究設備)

林 秀敏(薬学研究科長・教授)

学長補佐(国際)

横山 清子(芸術工学研究科教授)

学長補佐(大学院)

湯川 泰(システム自然科学研究科長・教授)

副理事(先端研究設備)

飛田 秀樹(医学研究科教授)

副理事(産学連携)

中川 秀彦(薬学研究科教授)



理事・副学長

(教育・学生・山の畑・市教育委員会連携)

伊藤 恭彦(人間文化研究科教授)

副学長(高等教育院、学生施設等)

高石 鉄雄(システム自然科学研究科教授)

学長補佐(入試、高大接続)

平嶋 尚英(薬学研究科教授)

学長補佐(リカレント学部)

酒々井 眞澄(医学研究科教授)

学長補佐(学生支援)

山本 明代(人間文化研究科長・教授)

副理事(リカレント学部)

小林 直三(人間文化研究科教授)

副理事(キャリア支援)

稲垣 一之(経済学研究科准教授)



理事・副学長(経営・70周年事業)

吉田 和生(経済学研究科長・教授)

副理事(70周年事業、交流会、後援会)

木村 和哲(医学研究科教授)

副理事(70周年事業)

服部 光治(薬学研究科教授)

副理事(寄附・収益事業)

大手 信之(医学研究科教授)



理事(病院)・附属病院長

小椋 祐一郎(医学研究科教授)

学長補佐(市健康福祉局連携)

道川 誠(医学研究科長・教授)

学長補佐(医業看病院連携)

堀田 法子(看護学部長・教授)

副理事(関連病院・市医療センター)

森田 明理(医学研究科教授)

副学長(社会貢献、男女共同参画)

明石 恵子(看護学部教授)

学長補佐(保育所)

水野 みか子(芸術工学研究科長・教授)

副学長(自己点検・評価、WLB、大学史編纂・資料室)

吉田 一彦(人間文化研究科教授)

学長補佐(WLB)

山田 紀代美(看護学部教授)

学長補佐(職場環境・障害者)

山本 明代(人間文化研究科長・教授)

副理事(自己点検・評価)

高橋 智(医学研究科教授)

病院連携理事

大原 弘隆(名古屋市病院局長・医学研究科教授)

学長特別補佐(教育・国際・学生)

加藤 敬(人間文化研究科特任教授)

学長特別補佐(医療)

大森 豊緑(医学研究科特任教授)

特命学長補佐(関連病院アライアンス再編)

城 卓志(非常勤)

理事(財務)

加藤 博(非常勤)

理事(知財活用連携)

佐々木 剛史(非常勤)

監事

宮崎 真(非常勤)

監事

前田 篤(非常勤)

DATE 卒業式・修了式 2018.3.26 入学式 2018.4.5

平成29年度卒業式・修了式(3月26日(月))、 平成30年度入学式(4月5日(木))が、名古屋国際会議場にて行われました。

本学から1,004名の卒業生が巣立ち、1,120名の入学生が新たに本学の門を潜りました。

■ 卒業式



学位記授与



卒業生答辞(留学生代表)

■ 入学式



入学生宣誓

全日本電卓競技大会で
優勝を重ねている
卒業生の杉本浪乃さんが
その技能を披露



国内外の大会で優勝を
重ねている医学部4年の
田多加津輝さんが入学生を
ジャグリングで歓迎



学長式辞

名市大は、134年前創立の薬学部と、75年前創立の医学部が、68年前、統合して開学され、今年新設された総合生命理学部を含め、7つの学部と研究科からなる、伝統ある総合大学に発展してきました。

本学は、輝かしい伝統のもと、世界に冠たる大学として飛躍してまいります。皆さんは、そのような名市大の一員になられた誇りと愛を持ち、世界に羽ばたいてください。

名古屋市立大学 理事長・学長
郡 健二郎



私の好きな言葉「凌雲の志」を揮毫して披露しました。

今年度、**総合生命理学部**を
新設し、はじめての入学生が
誕生しました。



入学生宣誓をした総合生命理学部新1年生の村上瑞季さんは、「さまざまな理学分野の授業で学び、自分の興味があること、これからしたいことなどをみつけていき、そのことについて深く学んでいきたいです。」と意気込みを語ってくれました。

特設サイトをリニューアルしました!

本学ウェブサイト内にある特設サイト「見る・知る・聞く名市大」は、本学の特色や強みなど、数字や写真、動画などで分かりやすく伝えるさまざまなコンテンツがあります。特設サイト内の「それぞれの名古屋市立大学」では、今回新たに14組の在學生や卒業生にインタビューを行い、多種多様な角度から本学の魅力を語っていただきました。ぜひご覧ください。

■詳しくは特設サイト「見る・知る・聞く名市大」をご覧ください。
<http://www.nagoya-cu.ac.jp/branding/index.html>



総合大学の強みを活かして課題を解決! 都市政策研究センターを開設しました!!

2026年第20回アジア競技大会の開催、2027年リニア新幹線開業等のビックイベントの開催においては、観光やまちづくりなど、さまざまな課題解決が求められます。また、少子高齢化社会における子育て支援や医療・福祉の問題、南海トラフ巨大地震の発生に備えた防災など、名古屋市をはじめとするこの地域はこれら都市政策に係る多種多様な課題の解決を進めなければなりません。本学の都市政策研究センターは、経済学研究科と人間文化研究科が中心となって総合大学である強みを活かし、それぞれの専門分野を融合させながら、これら課題の解決に向けた調査・研究・分析を行う機関として5月に開設しました。行政や経済界、地域社会の抱える課題について当センターにご相談ください。

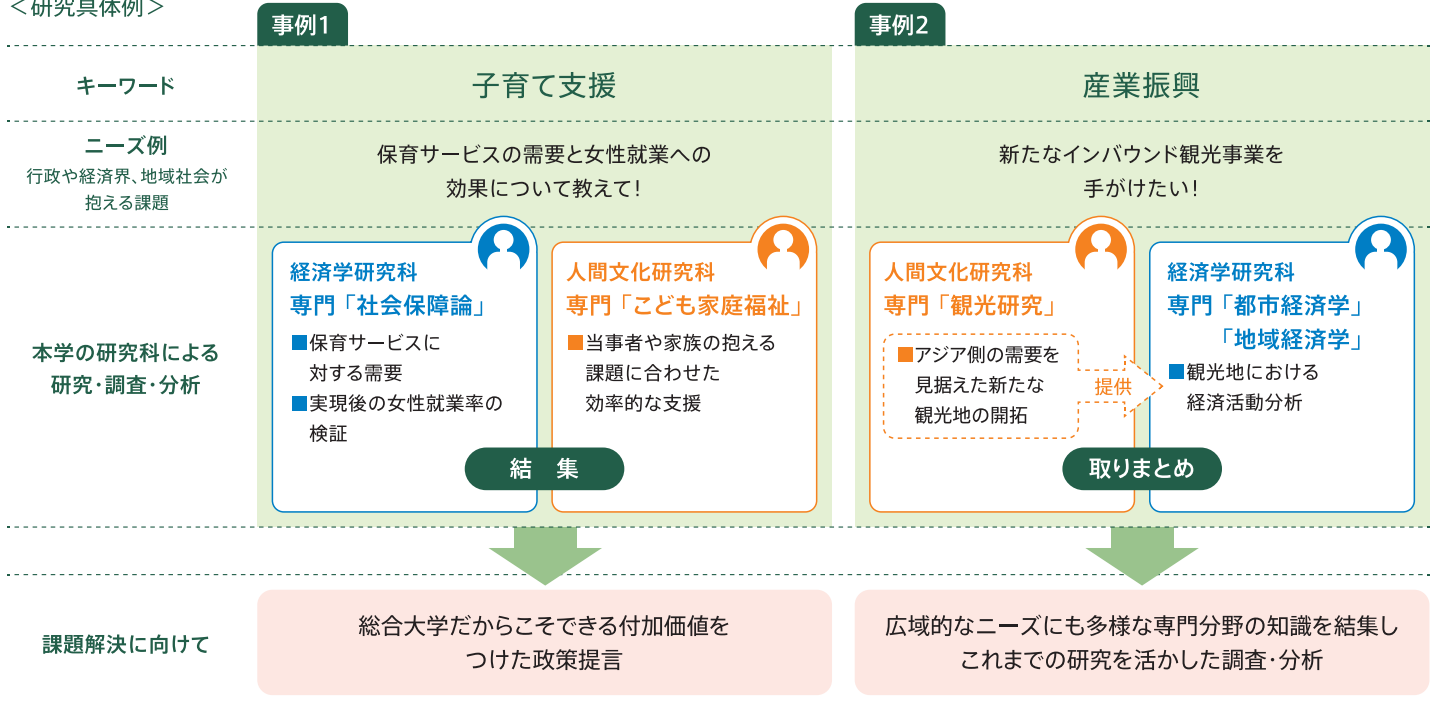
<センター長挨拶>

第3期中期計画策定の中で議論を始め、短期間での開設に至るまで、ご尽力を頂きました皆様に心より御礼申し上げます。名古屋市をはじめ、地域にはさまざまな課題があります。当センターは、その課題の解決に寄与するため、健康・医療・福祉の向上、子どもの育成支援、産業の振興等の分野で、総合大学の調査・研究・分析力を活かして、行政、企業等と幅広く連携・協働してまいります。今後、大学院等での人材育成にも結び付けてまいりますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。



都市政策研究センター長
三宅 勝

<研究具体例>



2018年4月、 高等教育院が新設されました

2018年4月、教育改革を全学的に推進するための組織として、新たに高等教育院が設置され、院長にはシステム自然科学研究科高石鉄雄教授が就任しました。高等教育院では、教養教育や全学語学教育の企画・運営をはじめ、教学IR(大学の教育におけるさまざまな情報を収集、分析することにより、学内の意思決定や改善活動を支援する取り組み)やFD(教育方法などを改善するための組織的な研究、研修等に取り組む活動)といった、教育の質保証につながる取り組みを行います。これらの活動を通じて、名古屋市立大学の教育力を結集し、全ての学生の成長を支える、より魅力ある教育を提供してまいります。

DATE 2018.4

2018年4月「なごや看護学会」設立!

2018年4月、看護学部未来プランをもとに、看護学部と病院看護部は名古屋市に貢献する大学として、名古屋市全体の看護職を活性化できる地域密着型の組織「なごや看護学会」を設立しました。「なごや看護学会」は、市内の主要な医療機関、訪問看護ステーション、教育機関、行政など、多方面の看護職の皆様のご協力を得ています。本学会のねらいは、①発信と共有、②連携と協働、③社会貢献です。充実した学術集会やセミナー等を企画して看護実践者と研究者をつなぎ、名古屋市の看護の質を高めたいと考えております。多くの方々のご入会をお待ちしています。



なごや看護学会設立に向けた発起人会議

DATE 2018.4

DATE 2018.4.12

学生会館南側「ソテツ広場」がオープン

2018年4月12日(木)、滝子キャンパス・学生会館南側に整備した「ソテツ広場」がオープンしました。旧制第八高等学校時代から繁茂するソテツを中心に、名古屋市上下水道局・鍋屋上野浄水場で約100年間使用されたレンガ約20,000個を利用し、学生が集まる(憩える)場として学生会館南側広場の整備を行いました。この整備は、2016年以降、有志の学生を中心とした、魅力的な滝子キャンパスの整備を検討する「きらめき☆ときめき 山の畑キャンパスプロジェクトワーキング」で学生から出された意見がもととなっています。また、広場デザインについては芸術工学部の教員と学生の協力のもと、決定しています。



ソテツ広場オープンセレモニーの様子

芸術工学部

芸工1年生の自作力作5作品 キャンパスを彩るスモールスペース

芸術工学部建築都市デザイン学科1年生(当時)が実習で自作した5基のスモールスペースを滝子キャンパスに設置しました。スモールスペースとは、公園などにある憩いの場としての東屋(あずまや)を独自の視点で解釈し設計された、学生キャンパス内で学生が立ち寄ることのできる心地よいスペースのことです。彩あるオブジェとして鑑賞いただくとともに内部もご体験下さい。



わらじろう



かざぐるま

DATE 2018.4

医学部附属病院

喜谷記念内視鏡医療センターオープン

2018年4月、これまでの内視鏡医療センターを拡張し、「喜谷記念内視鏡医療センター」としてリニューアルオープンしました。改修工事により、透視装置を新規導入した透視室を含め、検査室が7室に増室。前処置・リカバリー室を拡張し、洗浄室を新たに設けることで、内視鏡の検査をスムーズに行うことができるようになりました。今回のリニューアルにより、外来セデーション内視鏡検査など多様で充実した内視鏡検査・治療を効率的に行うことが可能となり、より質の高い安心で安全な医療を患者さんに提供できると考えています。



内視鏡透視室



前処置・リカバリー室

DATE 2018.3.28

名古屋市立大学× 名古屋観光コンベンション ビューロー

連携協力協定を締結

2018年3月28日(水)、名古屋観光コンベンションビューローと連携協力協定を締結しました。今後、観光、MICE等の分野において相互に連携協力して大学における教育研究の充実及び学生の実践力の養成を図るとともに、魅力ある地域づくりを進め、地域社会の発展並びに活性化に寄与していきます。



本学 郡健二郎学長(左)、
名古屋観光コンベンションビューロー 堀崎亘理事長(右)

大学院 医学研究科

名古屋市立大学病院に地域医療教育研究センター、 蒲郡市民病院に分室を設置

2018年度から、本学医学研究科に新たに「地域医療教育研究センター」を設置しました。また、同センター分室を地域の基幹病院である蒲郡市民病院に設置し、1名の教授、2名の講師が着任しました。同センターに所属する教員は本学および蒲郡市民病院において、横断的に診療・教育・研究活動を行うことで、相互の連携を強化していきます。本学は、地域の基幹病院と初期研修や専門医研修、診療の面で連携しながら、相互の医療水準の向上や医師の育成等を進めています。



蒲郡市民病院

DATE 2018.2.9

第6回 医・薬・工連携フォーラム

「産学連携の推進に向けて」を開催！

2018年2月9日(金)、講演者に文部科学省の村瀬剛太大学技術移転推進室長、信州大学の杉原伸宏学術研究支援本部長をお招きして、国の産学連携に係る最新の方策、医工連携の国内最新事例について、ご紹介いただきました。また、本学の産学連携に精力的に取り組んでいる医学研究科河合憲康准教授、薬学研究科松永民秀教授の成功事例を大学内で共有しました。

今後もさまざまなテーマを取り上げ、研究の深化と発展に寄与する機会を提供していく予定です。



DATE 2018.2.24

大学院 医学研究科

エコチル調査公開講座
2018を開催

2018年2月24日(土)、7人の全国の小児環境保健専門家講師を迎え、名古屋駅JRゲートタワーにて同公開講座を開催しました。妊娠中のつわりは胎児発育には影響しないこと、出産後の再喫煙にはパートナーの喫煙が影響していることなどの研究知見の紹介がありました。エコチル調査とは、子どもの健康と環境化学物質との関係を調べる全国規模の調査で、全国の親子10万組が協力しています。環境省からの委託事業として、東海地域では本学が拠点となり、2011年から調査を進めています。



DATE 2018.3.2-4・7

企業研究セミナー2018開催



2018年3月2日(金)～4日(日)、滝子(山の畑)キャンパスと田辺通キャンパスで、同セミナーを開催し、3日間で194社の企業が参加しました。また、初の試みとして、7日(水)に北千種キャンパスで、芸術工学部の学生を対象とした企業研究セミナーも開催しました。2019年卒業の大学生の採用活動が解禁となつてすぐの開催となつたこともあり、多くの学生が熱心に企業の人事担当者の話を聞く姿が見られました。

DATE 2018.3.16

NCU Global Young Investigator Forum 2018 を開催！

2018年3月16日(金)、日本学術振興会「頭脳循環を加速する戦略的ネットワーク推進プログラム」の成果報告会を兼ねた国際シンポジウムを開催し、若手研究者を中心に活発な発表と討論が行われました。この推進プログラムは、2015年に採択され、本学から海外への研究者派遣や海外からの研究者招へい、また、頭脳循環セミナー、若手イブニングセミナー、合宿形式の研究発表会(リトリート)などのイベントを通して、さまざまな生命科学分野の国際共同研究活動が積極的に行われました。このプログラムで構築された国際研究ネットワークを基盤として、本学を中心とする国際共同研究が促進されることが期待されます。



シンポジウム参加者との記念撮影

DATE 2018.1.6

蝶ヶ岳ボランティア診療班

蝶ヶ岳ヒュッテオーナーへ感謝状を贈りました



2018年1月6日、蝶ヶ岳ヒュッテのオーナーである神谷圭子氏へ、本学から感謝状を贈呈しました。ヒュッテ内にある蝶ヶ岳ボランティア診療所には、本学の医療関係に携わる教員や学生らが、夏の登山シーズンに交代で常在し、登山者の健康や安全を支援しています。創設から20年以上、「名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班」を支えて続けていただいた神谷氏の功績に、深く感謝の意を表すとともに、今後も社会的にさらに充実した取り組みを進めます。

DATE 2018.1.23

医学部附属病院

「げんきのまどプロジェクト」
への感謝状贈呈

2018年1月23日(火)、中部テレコミュニケーション株式会社が実施する「げんきのまどプロジェクト」に対して感謝状を贈呈しました。このプロジェクトは、大型モニターと通信ネットワークにより、外出できない入院中の子どもたちに、院外の風景やイベントを届ける取り組みです。モニター越しに現場と会話できるようになっており、2014年度以降、名古屋港水族館からの映像提供やSKE48のメンバーとの会話といった企画を毎月1回提供いただいています。



全ての市民が誇りに思う・愛着の持てる大学をめざして

公立大学法人名古屋市立大学

第三期 中期目標・中期計画の概要 (期間:平成30年4月～36年3月)

中期目標・中期計画とは？

中期目標とは、公立大学法人が達成すべき業務運営に関する6年間の目標として、設立団体の長が定めるものです。

公立大学法人は、中期目標を達成するための具体的な取り組みを中期計画として定めます。

中期目標 (「第三期中期目標 前文」より)

率先して取り組む教育・研究・社会貢献活動

- ① 総合大学としての特性を活かして、分野横断的な知を修得させ、これらの教育を通じて、地域社会と国際社会に貢献し、次世代をリードできる優れた人材を輩出する。
- ② 健康・福祉の向上、生命現象の探究、経済・産業の発展、都市政策とまちづくり、子どもの育成支援、国際化の推進、文化芸術の発展などに関する研究課題に重点的に取り組む。
- ③ 地域に開かれた大学として、広く市民や名古屋市などの連携を一層強化し、地域や行政の課題解決に寄与する。地域の医療の発展に中核的な役割を果たし、生涯にわたる教育の推進に積極的に寄与する。

これらの活動を市民の理解を得ながら推進していくために、より積極的に情報を発信し、説明責任を果たす。

また、大学の運営体制の自律性・弾力性を強化し、財務内容の改善に取り組むことで、運営の基盤を強化する。

中期計画 重点的な取り組み

教育

教育の質の確保と分野横断的な知の修得

- 三つのポリシー※のもと、能動的・主体的な学修への転換を推進する。
※入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)、教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)、卒業認定・学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)のこと
- 総合大学としての特性を活かした学際的教育を推進する。
- 教育・学生支援情報の管理・活用機能を整備し、教育改革を全学的に推進する新たな体制を構築する。
- 学際的・組織横断的な教育・研究を推進するため、教育実施体制の見直しを行う。



研究

研究成果の発信・還元と研究活動の推進

- 認知症や発達障害などに関する先進的な研究を充実させる。
- 都市特有の諸課題の解決に向けた政策提言を行う都市政策研究センターを設置する。
- 分野横断的な研究体制の構築や学外との連携などにより世界的に高度なレベルの研究活動を推進する。

社会貢献

地域の課題解決の寄与と産学官連携の強化

- 魅力的な公開講座の提供や市民の関心を高めるための仕組みづくりを行う。
- 行政施策との連携や産業界・他大学との連携により、医療・産業・地域活性化施策等に取り組む。

国際化

海外ネットワークの形成と留学生の積極的な受け入れ

- 海外拠点校設置を含めた海外の大学とのネットワーク形成を戦略的に進める。
- 海外ネットワークの活用による留学生の受け入れの仕組みづくりに取り組む。

附属病院

安心安全で最高水準の開かれた医療の提供と地域の医療の発展への中核的役割

- 体制及び病院設備・医療機器等の整備を行い、高度急性期病院・特定機能病院としての役割を果たす。
- 救急医療及び災害医療に係る体制並びに施設・設備の強化を図る。
- 地域包括ケアシステムの構築に寄与するため、地域の医療機関・介護施設に係る連携の一層の推進と人材育成・多職種連携に取り組む。

中期計画 その他、主な取り組み

教育

学士課程

- カリキュラムの体系化、学修成果の可視化、成績評価の厳格化
- 教養教育と専門教育の連携による全学的かつ効果的な語学教育の実施

大学院課程

- 高度な知識と研究能力を涵養する教育・研究指導の実施
- 大学院教育の国際化の一層の推進

教育実施体制

- 医学と薬学の枠を越えた共同体制の構築
- リカレント教育の仕組みの構築

教育環境

- 教育施設のあり方についての構想の策定

学生への支援

- 学生への経済的支援の拡充や障害学生への支援の充実
- 学士課程低年次からの就職ガイダンスの実施



外国人講師による語学教育の様子

<教育に関する主な数値目標>

卒業生(就職希望者)の就職率	
各年度	【参考】現状値
100%	99.3% (28年度)

研究

- 研究推進本部の活動のさらなる活性化による、強みとなる研究分野への一層の支援
- 全学的な研究設備の共同利用の促進や教員の弾力的な配置などによる研究環境の充実
- 外部研究資金の獲得に向けた研究費の戦略的な配分
- 研究費の配分や研究環境の整備などによる、若手・女性教員への研究活動支援



システム自然科学研究科での研究の様子

<研究に関する主な数値目標>

科学研究費助成事業採択件数	
35年度	【参考】現状値
410件 (33~35年度の3年平均)	373件 (26~28年度の3年平均)

社会貢献

- 地域の中学生、高校生等に対する、大学の高度な教育・研究に触れる機会の提供
- 大学発ベンチャーの創出などに向けた支援



高校生と大学生が共に学ぶ高大連携事業「大学まると研究室体験」の様子

<社会貢献に関する主な数値目標>

市民公開講座の満足度※	
35年度	【参考】現状値
90% (30~35年度の6年平均)	87.6% (24~29年度の6年平均)

※受講者へのアンケートにおいて、受講の感想が「よかった」「まあよかった」と答えた人数の回答数に占める割合

国際化

- 学生の海外留学の促進と海外での実践的な研修やインターンシップなどへの派遣の奨励
- 教員の海外派遣や外国人研究者の受け入れ、その他の国際的な共同研究等への支援
- 学生及び外国人研究者と地域との国際交流を通じた多文化共生の推進



本学生や留学生がランチタイムに交流する「トークタイム」の様子

<国際化に関する主な数値目標>

海外学習体験者数※	
35年度	【参考】現状値
150人 (33~35年度の3年平均)	117人 (26~28年度の3年平均)

※留学、インターンシップ及び国際学会発表等を体験した学生数

附属病院

- 医療安全管理体制の強化
- 先進医療及び治験などの臨床研究の推進
- 臨床研修医を始め、専門医に至るまでの人材育成体制の強化
- 経営資源を効率的・効果的に活用した収益の向上及び低コストで最大の効果を上げる経営改革の推進
- 病院経営に見識のある外部の方を含めた会議の立ち上げ



手術支援ロボット「ダヴィンチ」

<附属病院に関する主な数値目標>

新入院患者数	
35年度	【参考】現状値
20,400人	18,262人 (28年度)

■中期目標・中期計画の全文を本学ウェブサイトに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。
<http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/evaluation/medium-term/>

■中期目標・中期計画に関するお問い合わせは…
企画広報課 TEL: 052-853-8806 E-mail: kikakuhyouka@sec.nagoya-cu.ac.jp



学生の活躍

名古屋市立大学×学生広報サークル「NCU.info」×山田餅本店 「めいしどらやき」はじめました

本学の知名度向上や地域貢献活動の一環として、90年以上前から本学のある地域でお店を開いている「山田餅本店」とのコラボによる「めいしどらやき」が完成しました。昔ながらの味がするNCUマーク入りのどらやきは絶品そのもの。本学広報サークル「NCU.info」のメンバーがパッケージやネーミングを担当し、贈答用の「名刺代わりに」という意味もこめて「めいしどらやき」となりました。

■詳しくは本学ウェブサイトから以下のページをご覧ください。

<http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/press/goods/meishidorayaki.html>



(左から)

パッケージデザインを考案した芸術工学部3年の稲葉琴音さん、山田餅本店社長の山田俊哉さん、2017年度NCU.info代表の人文社会学部4年の五十嵐菜さん

芸術工学部

映画製作サークル「映像によるまちづくり」 映画「無古屋(ナゴヤ)」上映会開催!

2018年3月18日(日)、中区伏見のミリオン座にて、映画「無古屋」の上映会が行われました。この映画は、名古屋市観光文化交流局の「平成29年度 名古屋なんて、大好き事業」にも選ばれ、「もしも日本から名古屋が消えてしまったら!」をテーマに描かれた作品です。上映会はキャンセル待ちも出るほどの大盛況。脚本・監督を務めた芸術工学部4年(当時)の天野愛子さんは「この映画が名古屋のたくさんの魅力を学ぶきっかけになれば嬉しい」と話していました。



「無古屋」のワンシーン
(撮影:名古屋市役所)

上映会の様子

人文社会学部

学生による選挙啓発活動が 全国表彰を受けました

三浦哲司准教授のゼミの学生は、2016年の参議院選挙に伴う滝子(山の畑)キャンパスの期日前投票所の運営を契機に、学内外で選挙啓発活動を進めてきました。今回、一連の活動が評価され、明るい選挙推進協会から2017年度の優良活動表彰を受けました。

2018年3月13日(火)に東京で表彰式があり、その後に開催されたシンポジウムでは3年(現4年)の牧野晃平さんが登壇し、取り組みを紹介しました。牧野さんは「今回の受賞により、名市大の活動が全国に発信できたことを嬉しく思います」と話しています。



名市大発見!

知れば知るほど好きになる!

名古屋市立大学の知られざる豆知識を紹介します。

第5回 「めいし?」「めいしだい?」

「名古屋市立大学」の略称で、おそらく多くの人が思い浮かぶのは「めいしだい」。開学30周年にできた学生歌「新緑薫りて」の歌詞には、「名市大名市大 あゝ誇り持ちつ」とあり、1985年発行の薬学部百年に書かれた「思い出の記」というページでは、個々に「名市大」という略称で開学当時の様子を語っています。また、1964年に誕生した「名古屋市立大学広報」を紐解くと、随想のコーナーには「市大」と記載されていることがほとんど。これは、当時名古屋市の組織の一部であったからと推測されます。さて、「めいしどらやき」の制作過程では、学生サークル「NCU.info」のメンバーで100を優に超えるネーミングを考えました。候補にも「めいし」と付く名前が多く、今の学生は「めいし」と呼ぶことがポピュラーなようです。時代が変わっても、呼び方は人それぞれ、あなた「しだい」ですね。

おおがき親善大使として活躍中! 経済学部4年 坪井咲さん

経済学部4年の坪井咲さんが、地元である岐阜県大垣市の「水の都おおがき親善大使」として、各種イベントで大垣の魅力をPRするなど、精力的に活動しています。坪井さんは「イベントを通して、生まれ育った大垣市をさらに盛り上げてたくさんの人に知ってもらいたいです。ゼミで鍛えられたプレゼン力が、PRの際に活かされています。これからも明るく元気に大垣市の魅力を伝えていきます!」と話しています。



水都まつりで、就任挨拶をする坪井咲さん

★ 名誉教授称号授与

以下の各位に、2018年4月1日付で名誉教授の称号が授与されました。
それぞれの専門分野において研究・教育に尽力される一方、本学の発展および管理運営に大きく貢献された各氏に、多年にわたるご尽力を感謝するとともに、今後のご活躍をお祈りいたします。

医学研究科 大塚 隆信 教授
 医学研究科 城 卓志 教授
 医学研究科 岡本 尚 教授
 薬学研究科 今泉 祐治 教授
 人間文化研究科 吉村 公夫 教授
 芸術工学研究科 草間 晴幸 教授



平成30年 春の叙勲

細菌学及び感染防御・制御学分野における研究業績並びに学生部長としての功績等により、このたび瑞宝章を受章されました。ご受章を心よりお祝い申し上げますとともに、今後のご活躍をお祈りいたします。



瑞宝中綬章

受章者：
朽久保 邦夫
 名古屋市立大学名誉教授
 元学生部長

PRIZE

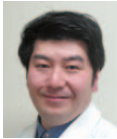
受賞

※受賞期間：2018年1月1日～2018年4月30日 ※研究科・学部ごと、受賞日順に掲載



平成30年度
日本泌尿器医学功労賞
 理事長・学長
郡 健二郎

■ 医学研究科

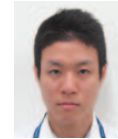


健康加齢医学振興財団
井村臨床研究奨励賞
 消化器・代謝内科学分野
 准教授
田中 智洋

■ 医学部附属病院



第10回 中部放射線医療技術
 学術大会 優秀賞
 診療技術部 放射線技術科
 診療放射線技師
青木 紀頭



第10回 中部放射線医療技術
 学術大会 優秀賞
 診療技術部 放射線技術科
 診療放射線技師
石原 大地

■ 薬学研究科



平成30年度 日本薬学会賞
 理事・副学長(研究・国際)
 細胞分子薬効解析学分野 教授※
今泉 祐治

※受賞時

■ 人間文化研究科



損保ジャパン日本興亜福祉財団
社会福祉学術文献表彰事業 奨励賞
 准教授
桜井 啓太

平成30年 瑞穂区消防表彰式

2018年1月19日(金)、滝子(山の畑)キャンパスで消防訓練などを積極的に実施してきたことが評価され、瑞穂消防署から消防協力の感謝状をいただきました。



本学代表として、伊藤恭彦理事(右端)が表彰を受けました

お知らせ



本学事務職員が、初めて中央省庁へ派遣されます

2018年4月から2年間、2人の本学事務職員を、新たに文化庁と日本学術振興会へ派遣することとなりました。多方面から人材が集う職場において、人脈を広げながら全国基準の業務を行うことなどで、更なる成長を遂げて帰任され、その経験を活かして名市大の発展に寄与されることが期待されています。

上利正樹(前列左:文化庁派遣) 柴田憲志(前列右:日本学術振興会派遣)

イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

■内容・場所・申込方法等の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

サイエンスパートナーシップイベント 中・高生向けサイエンスカフェ

開催日	内容	時間・場所・費用・定員	申込方法
7.8 SUN	星々のレシピ 「恒星のつくりかた」 講師:名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科 教授 杉谷 光司(専門:天文学) 「惑星のつくりかた」 講師:名古屋市科学館 主任学芸員 毛利 勝廣(専門:天文学)	14:00~15:30 中区栄 ナディアパーク内 デザインセンタービル7階 7th cafe (セブンスカフェ) 費用:無料 定員:先着30人	メールまたは電話、FAXで受け付けます。 タイトルに「中・高生向けサイエンスカフェ申込」と記載の上、氏名、学年、住所、電話番号を記載しお申し込みください。 メール:scicafe@nsc.nagoya-cu.ac.jp TEL:052-872-3461 FAX:052-872-1531 ※6月11日(月)から受付を開始いたします。 詳しくはサイエンスカフェ in 名古屋のウェブサイトをご覧ください。 http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/scicafe/index.html

サイエンスカフェ in 名古屋

開催日	内容	時間・場所・費用・定員	申込方法
6.15 FRI	第132回 「すごいゾクモの糸~夢の繊維となるか? その強さとしなやかさの秘密~」 講師:システム自然科学研究科 准教授 片山 詔久	18:00~20:00 中区栄 ナディアパーク内 デザインセンタービル7階 7th cafe (セブンスカフェ) 費用:600円(飲み物+お菓子) 定員:各先着30人	お名前・ご住所・ご希望の回(開催日)をご記入の上、お申し込みください。 メール:scicafe@nsc.nagoya-cu.ac.jp TEL:052-872-3461 FAX:052-872-1531 ※開催日の1カ月前から、次回開催分の受付を開始いたします。 詳しくはサイエンスカフェ in 名古屋のウェブサイトをご覧ください。 http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/scicafe/index.html
7.20 FRI	第133回 「量子の世界の不思議」 講師:システム自然科学研究科 准教授 徳光 昭夫		
8.14 TUE	名古屋市立大学システム自然科学研究科主催、 東山動植物園協カイベント 第134回 サイエンスカフェ in 名古屋@東山動植物園 「東山動物園自然動物館の動物たち: 進化、保全、飼育」 講師:システム自然科学研究科 教授 熊澤 慶伯 東山動物園 飼育第二係技長 藤谷 武史	14:30~16:30 ※当日はナイトZOOがあり、20:30まで動物園に滞在可能です。 東山動植物園内 ガーデンテラス東山レストラン 費用:800円(飲み物、ケーキ付) ※別途、東山動植物園入園料が必要。 定員:先着40名	メールまたは電話、FAXで受け付けます。 タイトルに「サイエンスカフェ in 名古屋@東山動植物園申込」と記載の上、お名前・ご住所・電話番号を記載しお申し込みください。 メール:scicafe@nsc.nagoya-cu.ac.jp TEL:052-872-3461 FAX:052-872-1531 ※7月20日(金)から受付を開始いたします。 詳しくはサイエンスカフェ in 名古屋のウェブサイトをご覧ください。 http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/scicafe/index.html

芸術工学部 卓展

開催日	内容	時間・場所・費用	申込方法
8.17 FRI - 8.19 SUN	芸術工学部 卓展 学生主体で行っている成果発表の展覧会です。	10:00~17:00 (8月19日(日)のみ16:00まで) 北千種キャンパス 費用:無料	申込不要 詳しくは芸術工学部ウェブサイトをご覧ください。 情報が確定次第、順次公開します。 http://www.nagoya-cu.ac.jp/sda/

夏開催 OPEN CAMPUS

オープンキャンパス | 6月15日(金)(予定)より本学ウェブサイトオープンキャンパスのページで申込み受付開始予定
<http://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/event/open-campus/>

人文社会学部 7.14 SAT	経済学部 7.21 SAT	総合生命理学部 7.21 SAT	医学部 8.3 FRI	薬学部 8.4 SAT	看護学部 8.9 THU	芸術工学部 8.18 SAT
--------------------	------------------	---------------------	----------------	----------------	-----------------	-------------------

寄附顕彰

大学振興基金・名市大生みらい応援基金へのご寄附ありがとうございました。

大学振興基金

■個人

10万円以上 石原 治 様、榎本 建三 様、山本 正康 様
 5万円以上 木藤 新一郎 様、谷澤 正明 様
 1万円以上 足立 明子 様、小坂 英雄 様、高橋 洋 様、水野 清二 様
 5千円以上 市原 啓善 様、木村 千鶴 様、種田 陽一 様、鶴見 巳代子 様
 非公表 天池 雅彦 様、安藤 金男 様、大嶋 祐子 様、桑原 生行 様、小林 健 様、篠田 政典 様
 田島 收 様、土森 道雄 様、野口 昌良 様、野田 みゆき 様、萩原 宏美 様、藤井 武志 様
 宮川 浩一 様、湯川 泰 様、渡邊 裕子 様

■団体

非公表 日本空調システム株式会社 様
 放射線医学教室 様

名市大生みらい応援基金

■個人

100万円以上 Y.I 様
 10万円以上 山本 喜通 様
 1万円以上 水野 清二 様
 5千円以上 市原 啓善 様、木村 千鶴 様、鶴見 巳代子 様
 非公表 久保田 健市 様、篠田 政典 様、島根 国土 様
 田島 收 様、野田 みゆき 様

■団体

非公表 経済学部1回生 68会 様

※五十音順。2018年1月1日から3月31日までに寄附いただき、公表に同意された方。 ※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。 ※古本募金によりご寄附いただいた方につきましては、提携会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。

募集中!

広報誌「創新」のご意見・ご感想を
 ぜひ事務局企画広報課までお寄せください!
 E-mail:ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp

本学教職員の 皆さんへ

広報誌「創新」に掲載したい情報はE-mailで、
 広報に関する報告・相談は教職員限定サイト「広報ホットライン」
 をご活用ください。